

内水被害発生メカニズム

本ハザードマップの降雨条件: 130mm/h

内水

市街地の下水道や道路側溝などから雨水を河川に排水することができずに発生する浸水のことです。発生頻度が高く、短時間で浸水被害が発生する恐れがあります。

洪水

河川の水位が上昇し、堤防から溢れることや堤防の決壊で発生する浸水のことです。発生頻度は低いですが、甚大な浸水被害が発生する恐れがあります。

1時間の雨量が

10
～
20
mm

やや強い雨

サーサーと降る



長引くようなら、注意が必要です。

20
～
30
mm

強い雨

どしゃ降り



側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まります。

30
～
50
mm

激しい雨

バケツをひっくり返したように降る



山崩れ・がけ崩れが起きやすくなります。避難の準備が必要です。

50
～
80
mm

非常に激しい雨

滝のようにゴーゴーと降り続く



マンホールから水が噴出したり、土石流が起こりやすくなります。

80
mm
～

猛烈な雨

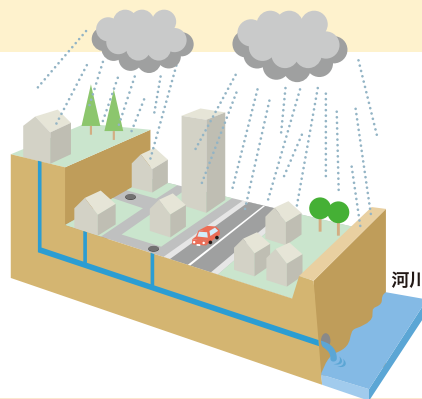
息苦しくなるような圧迫感や恐怖を感じる



雨による大規模災害の恐れが高く、厳重な警戒が必要です。

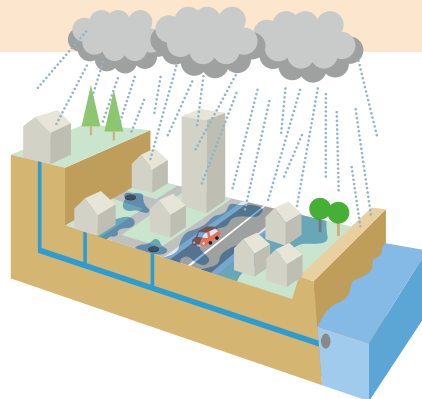
1

雨の降り始め



2

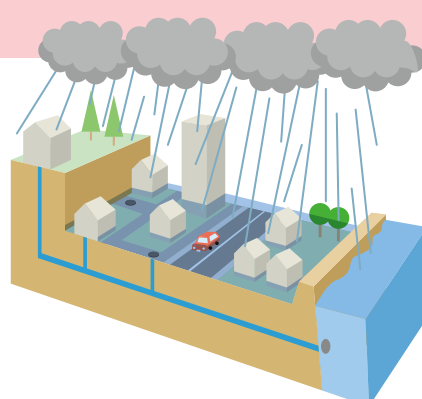
雨が強くなり、警戒が必要



3

内水被害の発生

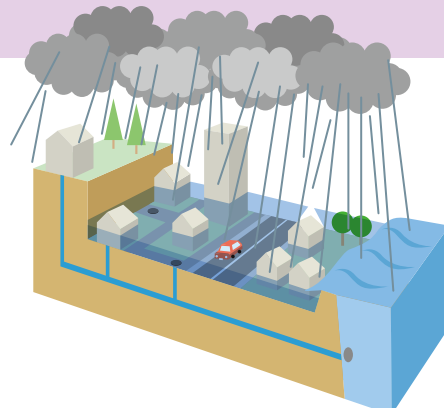
内水



4

洪水被害の発生

洪水



さらに雨が激しく降り続けると、河川への排水が困難となり、マンホールや水路から水が溢れ出し、低い土地での浸水被害が発生します。

高い場所などの安全な場所へ避難する必要があります。

継続的に激しい雨が降り続けると、雨水管から溢れた水による浸水(内水被害)に加えて、河川から水が溢れたり、堤防が決壊するなどの大きな浸水被害(洪水被害)が発生します。

避難情報に応じ、速やかに安全な場所へ避難する必要があります。